

令和4年度 保健体育 科
 教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
保健	保健	2	A B C D E F	1	必修修	35 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義・実習・鑑賞等
教科書	現代高等保健体育改訂版，大修館書店
使用教材等	・ワークシート ・ICT(パソコン)パワーポイント

科目の目標・内容等

学習目標	思春期から中高年期までの健康に関わることがらを学ぶ。
学習における留意点	健康を支えている保健・医療のしくみや、それらの活用のしかたなどを個人発表、講義、グループワークなどから学ぶ。
予習・復習	事前に教科書を読んでおく。個人発表の準備をする。ワークシート、板書内容を整理する。
評価方法	定期考査・個人発表・平常点(グループでの発表・レポート等)をもとに総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	2単元 生涯を通じる健康 1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶	思春期の特徴について体と心の両面から理解する。 性意識に関する男女の特性を踏まえて異性を尊重する態度が必要であること、性に対する情報などについて適切に対処し行動する。 健康な結婚生活を送るために、心身の発達や本人・家族の健康が大きく影響することを理解する。 受精・妊娠・出産の一連の過程を理解する。 家族計画の意義や方法について、理解する。	思春期の特徴について体と心の両面から理解できているか。 性意識に関する男女の特性を踏まえて異性を尊重する態度が必要であること、性に対する情報などについて適切に対処し行動することができるか。 健康な結婚生活を送るために、心身の発達や本人・家族の健康が大きく影響することを理解できているか。 受精・妊娠・出産の一連の過程を理解できているか。 家族計画の意義や方法について、理解できているか。
2	6 加齢と健康 7 高齢者のための社会的取り組み 8 保健制度とその活用 9 医療制度とその活用 10 医薬品と健康 11 ささまざまな保健活動や対策	加齢にともなう心身の変化を、形態面と機能面から理解する。 高齢者の心身の健康を支援するための社会的対策が種々行われていることを理解する。 保健制度や医療制度を自分にかかわるものとして理解し、自分や家族のライフステージでどのように生かすとよいかを学ぶ。 医療品の正しい使い方やさまざまなしくみを理解していく必要がある。	加齢にともなう心身の変化を、形態面と機能面から理解できているか。 高齢者の心身の健康を支援するための社会的対策が種々行われていることを理解できているか。 保健制度や医療制度を自分にかかわるものとして理解し、自分や家族のライフステージでどのように生かすとよいかを学ぶことができたか。 医療品の正しい使い方やさまざまなしくみを理解できているか。
3	3単元 社会生活と健康 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3 健康被害の防止と環境対策 4 環境衛生活動のしくみと働き 5 食品衛生活動のしくみと働き	大気汚染の原因や健康への影響を理解する。大気だけでなく、水や土も生命維持にとって重要であることを理解する。 環境汚染による健康被害を防ぐために社会ではどのような対策がとられているか理解する。 環境衛生活動のしくみや食品衛生活動のしくみを知り、その働きについても理解する。	大気汚染の原因や健康への影響を理解する。大気だけでなく、水や土も生命維持にとって重要であることを理解できているか。 環境汚染による健康被害を防ぐために社会ではどのような対策がとられているか理解できているか。 環境衛生活動のしくみや食品衛生活動のしくみを知り、その働きについても理解できているか。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。